



二之江の子

令和6年11月29日
江戸川区立二之江小学校
第8号

自らの力で進もう「明日へつづけ キラキラの道」へ

校長 大石 吉郎

2024年のカレンダーも、残すところあと1枚となりました。11月になっても異例の暑さが続き、やっと秋らしさを感じ始めたと思ったら、急に寒くなるなど気候の変化に対応するのに苦勞しました。しかし、子供たちは、毎朝「おはようございます」と元氣よく挨拶ができ、私も子供たちから元氣の「エネルギー」をもらうことができています。

11月は、展覧会「明日へつづけ、キラキラの道」を無事に開催することができました。新校舎で初めての展覧会でしたが、体育館、中庭、特別教室などを活用して、子供たちの力作が勢ぞろいし、まるで美術館のような会場になりました。



お忙しいところ、保護者の皆様、地域の皆様方にご来校いただき、ありがとうございました。

また、今回は6年生が「こども学芸員」として、体育館の各学年のところにスタンバイして、来ていただいた方に作品の見所などを説明してくれました。私も説明してもらいましたが、まるで自分がその学年の作品を作っていたかのような説明には、とても驚かされました。子供たちは、行事を経験することにより、一回りも二回りも大きく成長していきます。

6年生にとって、最後の大きな行事である日光移動教室に、11月18日から20日まで2泊3日で行って来ました。お天気にも恵まれ、全行程を予定通り行うことができました。出発前日に、わかくさ学級の先生から、てるてる坊主をもらいました。晴れますように、と6年生の無事を祈る気持ちを込めて、わかくさのお友達が作ってくれたことを聞き、とても感動しました。

そのおかげで、3日間素晴らしい天気に恵まれました。この期間は、今季一番の寒気が入り、奥日光では夜遅く雪が降り、湯元の源泉あたりは雪が残っていたり、道路が所々アイスバーンになったりして、晩秋から初冬を経験することになりました。しかし、寒さが吹き飛ばすくらいの快晴のもと、戦場ヶ原のハイキングを楽しむことができました。



この期間中、私たちを支えていただいたのが、宿の女将さんと、まめ女将でした。食事の前には、まめ女将がアルコール消毒の声掛けをしてくれました。女将さんは食事が始まると、子供たちの健康を気遣って、食材の効能などを話していただき食欲を促してくれました。また、2日目のハイキングの後、泥だらけになった靴を翌日の朝までに全員分をきれいにふき取っていただきました。

女将さんは「みんなが頑張っているのを応援したい。」という気持ちで泥をふき取っていただいたとのことでした。閉校式にみんなで感謝の気持ち「ありがとうございました。」を伝えると、その言葉で「また元氣が出て頑張ろうという気持ちになります。」と女将さんはおっしゃっていました。

6年生は、卒業まで残り4か月となりました。下学年のお手本となりながら「明日へつづけ、キラキラの道」を自らの力でさらに進んでいってほしいと願っています。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様方からご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。